



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月8日  
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社  
 コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡 真 TEL 03-6202-7331  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 平成28年9月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	12,012	△0.7	1,076	72.2	983	44.8	820	54.2
27年12月期第2四半期	12,100	5.2	624	404.6	679	445.7	532	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 752百万円 (29.8%) 27年12月期第2四半期 579百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	27.06	—
27年12月期第2四半期	17.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	28,113	20,737	73.8
27年12月期	28,931	20,394	69.7

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 20,737百万円 27年12月期 20,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年12月期	—	6.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,090	△2.0	1,960	48.7	1,890	41.5	1,500	39.8	49.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	30,743,604株	27年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	421,820株	27年12月期	421,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	30,321,787株	27年12月期2Q	30,321,824株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や輸出が伸び悩む中で、新興国経済の減速、円高・株安の進行、英国のEU離脱問題などが加わり、景気の先行きに不透明感が強まる状況となりました。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界及び塗料業界におきましては、総じて需要が伸び悩むなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努め、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,012百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化の進捗に加え、化成品事業、及び中国の製紙用薬品事業の売上が順調に推移した結果、営業利益は1,076百万円（前年同期比72.2%増）、経常利益は983百万円（前年同期比44.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は820百万円（前年同期比54.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

## ・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,309万トンと前年同期比0.3%の増加でありました。需要が伸び悩む中、当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めた結果、当事業の売上高は、7,546百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化に加え、中国事業の売上が順調に推移したことから、セグメント利益は890百万円（前年同期比73.3%増）となりました。

## ・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は17万トンと前年同期比0.3%の増加でありました。需要が伸び悩む中、当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂、記録材料用樹脂の売上高がそれぞれ減少し、水性インキ用樹脂の売上高は前年を上回りました。その結果、当事業の売上高は、2,609百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

利益面では、コスト削減・合理化により、セグメント利益は131百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

## ・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出が順調に推移したことにより1,856百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

利益面では、売上増加及びコスト削減・合理化により、セグメント利益は254百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

受取手形及び売掛金の減少及び短期貸付金の増加により流動資産は17,908百万円(前連結会計年度末比534百万円減)となりました。

(固定資産)

有形固定資産の取得が減価償却を下回ったこと及び投資その他の資産の減少により固定資産は10,205百万円(前連結会計年度末比283百万円減)となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少により流動負債は6,212百万円(前連結会計年度末比925百万円減)となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少により固定負債は1,164百万円(前連結会計年度末比234百万円減)となりました。

(純資産)

四半期純利益の計上、剰余金の配当、及び非支配株主持分の減少により純資産は20,737百万円(前連結会計年度末比343百万円増)となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.8%となりました。また、有利子負債残高1,100百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.05倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は前回業績予想を下回る見込みではありますが、コスト削減・合理化の進捗に加え、化成品事業、及び中国の製紙用薬品事業の販売が順調に推移していることから、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回業績予想を上回る見込みでありますので、平成28年2月10日に公表いたしました平成28年12月期(平成28年1月1日～平成28年12月31日)の通期の連結業績予想を下記のとおり修正しております。

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,830	1,460	1,520	1,130	37 27
今回修正予想(B)	24,090	1,960	1,890	1,500	49 47
増減額(B-A)	△740	500	370	370	
増減率(%)	△3.0	34.2	24.3	32.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	24,569	1,318	1,335	1,072	35 39

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	817,753	1,138,835
受取手形及び売掛金	10,267,533	9,075,341
電子記録債権	595,636	489,325
商品及び製品	2,152,492	2,043,617
仕掛品	357,686	376,429
原材料及び貯蔵品	1,072,026	869,161
短期貸付金	2,711,485	3,515,726
その他	472,954	418,486
貸倒引当金	△4,742	△18,550
流動資産合計	18,442,826	17,908,374
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,503,352	2,491,247
機械装置及び運搬具(純額)	1,769,153	1,644,966
土地	4,472,035	4,472,035
その他(純額)	319,489	294,791
有形固定資産合計	9,064,031	8,903,040
無形固定資産	108,091	99,486
<b>投資その他の資産</b>		
その他	1,364,498	1,250,736
貸倒引当金	△47,697	△47,664
投資その他の資産合計	1,316,801	1,203,071
固定資産合計	10,488,924	10,205,598
資産合計	28,931,751	28,113,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,709,058	3,082,438
短期借入金	1,100,000	1,100,000
未払法人税等	330,292	237,840
賞与引当金	497,467	500,817
その他の引当金	—	20,355
その他	1,501,145	1,270,561
流動負債合計	7,137,964	6,212,013
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,925	15,925
退職給付に係る負債	1,018,421	865,787
資産除去債務	83,223	83,819
繰延税金負債	221,343	181,031
その他	60,467	17,931
固定負債合計	1,399,380	1,164,494
負債合計	8,537,344	7,376,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	16,826,614	17,465,332
自己株式	△104,754	△104,778
株主資本合計	20,288,039	20,926,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,794	327,158
繰延ヘッジ損益	△2,112	△3,329
為替換算調整勘定	128,825	68,453
退職給付に係る調整累計額	△609,963	△581,549
その他の包括利益累計額合計	△121,455	△189,268
非支配株主持分	227,822	—
純資産合計	20,394,406	20,737,465
負債純資産合計	28,931,751	28,113,973



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,100,687	12,012,165
売上原価	9,299,048	8,744,851
売上総利益	2,801,638	3,267,313
販売費及び一般管理費	2,176,733	2,191,229
営業利益	624,905	1,076,083
営業外収益		
受取利息	6,931	6,327
受取配当金	11,103	11,883
仕入割引	7,878	7,278
為替差益	18,491	—
受取保険金	—	39,679
その他	17,660	23,711
営業外収益合計	62,065	88,880
営業外費用		
支払利息	2,409	2,137
売上割引	2,934	2,670
為替差損	—	172,150
その他	2,345	4,646
営業外費用合計	7,689	181,604
経常利益	679,281	983,360
特別利益		
投資有価証券売却益	3,314	—
国庫補助金	254,807	—
負ののれん発生益	—	77,822
特別利益合計	258,121	77,822
特別損失		
固定資産除却損	1,823	1,605
固定資産圧縮損	167,629	—
特別損失合計	169,453	1,605
税金等調整前四半期純利益	767,949	1,059,577
法人税、住民税及び事業税	167,162	218,286
法人税等調整額	51,489	20,641
法人税等合計	218,651	238,928
四半期純利益	549,298	820,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,071	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	532,226	820,648

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	549,298	820,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,398	△34,636
繰延ヘッジ損益	△4,525	△1,217
為替換算調整勘定	4,250	△60,371
退職給付に係る調整額	16,446	28,413
その他の包括利益合計	30,570	△67,812
四半期包括利益	579,868	752,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,796	752,836
非支配株主に係る四半期包括利益	17,071	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	767,949	1,059,577
減価償却費	492,395	432,130
負ののれん発生益	—	△77,822
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△764	15,264
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△69,526	△89,622
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,674	5,257
その他の引当金の増減額 (△は減少)	14,975	20,355
未払賞与の増減額 (△は減少)	△82,365	—
未払役員賞与の増減額 (△は減少)	△42,700	△29,950
受取利息及び受取配当金	△18,034	△18,211
支払利息	2,409	2,137
為替差損益 (△は益)	△20,864	162,077
固定資産除却損	1,823	1,605
固定資産圧縮損	167,629	—
国庫補助金	△254,807	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,314	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,435,434	1,125,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	19,960	265,014
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,055,172	△593,362
未収入金の増減額 (△は増加)	12,214	35,564
その他	△101,731	△103,611
小計	1,319,185	2,211,914
利息及び配当金の受取額	18,034	18,211
利息の支払額	△2,474	△2,177
法人税等の支払額	△133,405	△321,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201,340	1,906,788
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△512,887	△374,660
投資有価証券の取得による支出	△2,016	△2,035
投資有価証券の売却による収入	8,102	—
無形固定資産の取得による支出	△34,798	△4,655
子会社株式の取得による支出	—	△150,000
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△735,725	△804,240
補助金の受取額	208,955	—
その他	2,904	3,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,065,466	△1,331,939
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△181,107	△181,779
その他	△2,476	△4,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,583	△186,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,996	△67,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,713	321,082
現金及び現金同等物の期首残高	790,783	817,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	750,070	1,138,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	7,636,382	2,693,298	1,771,006	12,100,687	—	12,100,687
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	24,065	280,850	6,850	311,766	△311,766	—
計	7,660,448	2,974,149	1,777,856	12,412,454	△311,766	12,100,687
セグメント利益	513,605	119,819	219,186	852,611	△227,706	624,905

(注) 1. 売上高の調整額△311,766千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△227,706千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	7,546,434	2,609,533	1,856,196	12,012,165	—	12,012,165
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	26,360	295,494	4,951	326,806	△326,806	—
計	7,572,795	2,905,028	1,861,148	12,338,972	△326,806	12,012,165
セグメント利益	890,101	131,409	254,178	1,275,690	△199,606	1,076,083

(注) 1. 売上高の調整額△326,806千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△199,606千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。